

科目名	二級建築士講座 2					年度	2024
英語科目名	2nd Class Architect Exam Preparation 2					学期	前期
学科・学年	建築学科 1年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1
担当教員	岩田 明士		教員の実務経験	有	実務経験の職種	建築設計	
【科目の目的】 ・2級建築士製図試験に必要な問題文の読み取りとエスキスができる ・2級建築士製図試験に必要な平面図の作図ができる ・2級建築士製図試験に必要な伏せ図の作図ができる ・2級建築士製図試験に必要な立面図及び矩計図の作図ができる							
【科目の概要】 建築士製図試験（木造）に必要な知識（計画、法規）・技術（構造、施工）を、問題演習を通して学ぶ。							
【到達目標】 A. 問題文を読み、セオリーに則った平面計画ができる B. 平面計画から、2階伏せ図を作成できる C. 矩計図を作成し立面図を作成することができる							
【授業の注意点】 評価はルーブリックにもとづいて行い、指導教員等により評価を行う。							
評価基準＝ルーブリック							
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう			レベル1 要努力	
到達目標 A	問題文からセオリーに 則った平面計画ができる		一部破綻はしているが まとめ上げている			まとめ上げることが できない	
到達目標 B	平面計画から、2階伏 せ図を作成できる		一部破綻はしている が、2階伏せ図を作成 できる			まとめ上げることが できない	
到達目標 C	ほぼミスなく、立面 図、矩計図を作成でき る		一部間違いはあるが書 き上げている			書き上げることが できない	
【教科書】							
【参考資料】 プリント							
【成績の評価方法・評価基準】 小テスト、模擬試験、取組み姿勢を評価							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							

科目名		#REF!			年度	#REF!
英語表記					学期	#REF!
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	問題文の読み方とエスキス	・問題文を読み方を理解 ・エスキスの手順を理解	1 問題文の読み方	問題文を落としなく読みアンダーラインを引ける		
			2 エスキスの手順	エスキス方法のセオリーを理解できる		
2	エスキス実習	・エスキスの作図の理解	1 エスキスの作成	問題文からエスキスを完成させることができる	2	
3	平面図実習	・配置図兼1階平面図、2階平面図の作図の方法理解	1 作図の方法	配置図及び平面図を作成することができる	2	
			2 平面図の作成			
4	平面図実習	・配置図兼1階平面図、2階平面図の作図の方法理解	1 作図の方法	配置図及び平面図を作成することができる	2	
			2 平面図の作成			
5	エスキス、平面図実習	・エスキスから平面図作成までの流れを理解	1 エスキスの作成	エスキスから平面図を作成できる	2	
			2 平面図の作成			
6	エスキス、平面図実習	・エスキスから平面図作成までの流れを理解	1 エスキスの作成	エスキスから平面図を作成できる	2	
			2 平面図の作成			
7	伏せ図の書き方	・伏図の書き方	1 伏図の作成	平面図から伏図を完成させることができる		
8	伏せ図実習	・伏図の作図	1 伏図の作成	平面図から伏図を完成させることができる	2	
9	伏せ図実習	・伏図の作図	1 伏図の作成	平面図から伏図を完成させることができる	2	
10	立面図の書き方	・立面図の書き方を理解	立面図の書き方	立面図の書き方を理解できる		
11	立面図実習	・立面図の作図を理解	立面図の作成	平面図から立面図を作成することができる	2	
12	矩計図の書き方	・矩計図の内容を理解	矩計図の書き方	矩計図の書き方を理解できる		
13	矩計図実習	・矩計図の作図を理解	矩計図の作成	細部を理解し矩計図を作成することができる	2	
14	矩計図実習	・矩計図の作図を理解	矩計図の作成	細部を理解し矩計図を作成することができる	2	
15	総合テスト	・エスキスから平面図の作成の流れを習得	エスキスの完成	問題文を読みエスキスから平面図の作成できる	2	
			平面図の完成			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等